

龍 灯

第 9 号

発行所

大阪市史跡 龍溪禪師墓所
靈龜山 九 島 禪 院

〒550 大阪市西区本田 3丁目4-18

☎06-582-5772

発行人

住 職 奥 田 啓 知 (智證)

時いた種は

刈らされる



く 昨今、喫煙者には甚だ住みに
い世の中になってきました。
ご存知のように、喫煙は肺が
んをはじめ、喉頭がん、食道、
ぼうこうがん、それに冠状動脈
大脳、血管、呼吸器などの疾患
の原因になります。また、副流
煙によって周囲の人にも同様の
影響を与えます。

世界保健機関(WHO)も一
公共の場所からの煙草公害をな
くして、みんなの安全と健康を
守ろう」とのメッセージを発す
るなど、「まず公共の場からの
禁煙」が大きな流れになってき
ました。

「わかつちやいるけど、やめ
られない」歌の文句じゃないけ
れど、タバコの害と他人に及ぼ
す迷惑を知りながら、誰しも禁
煙にはなかなか踏み切れないも
のです。

わたしは、一日三十本のヘビ
ースモーカーでしたが、末っ子
が家内のお腹に入っている時に
タバコをやめました。今から九
年前のことです。それまでに

幾度か禁煙に挑戦しましたが、
成功しませんでした。当時、高
校に勤務していましたが、授業
が終われば一服、始まる前に一
服。まさに歯の裏、真っ黒の状
態でした。そこで、一念発起、
禁煙に乗り出したのです。机の
上から灰皿をなくし、休憩時間
は、机の前で座禅黙想。どうし
ても吸いたくなれば、水を飲む
始をなめる。悪戦苦闘の末、何
とか一日成功したものの、二、
三日もすれば、もとの状態でし
た。

その年の忘年会の翌日、喉が
痛くて声が出なくなりました。
誰しも愛煙家は、酒を飲めば飲
むほど、タバコの量も増えるも
のです。同様の経験をした方も
多いはずですが、今度はタバコを
吸いたくても吸えないのです。
その日はとうとう、一服のタバ
コも吸わずに終わりました。

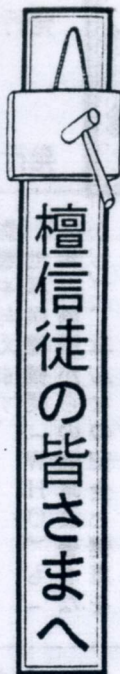
「般若心経」は「すべては
一空(くう)」であるを教えて
います。「一空」とは、「こたわ
るな!」ということなのです。あれ

ほど、禁煙したくてもできな
かったタバコが、本当に身体に悪
いとわかったのです。誰しも、
タバコの害と他人に及ぼす迷惑
を知識としては知っています。
でも、腹の底から、タバコの害
を知慧として理解していないの
です。骨の髄まで徹底してわか
ったのなら、迷うことなくタバ
コがやめられるはずですが、まさ
に「わかつちやいないよ、やめ
ないよ」じゃないでしょうか。

「自業自得(じごうじとく)」
—という仏教語があります。業
(ごう)というのは行為のこと
ですが、私たちは、自分の行為
(自業)の責任をとらねばなり
ません。三十本のタバコを吸っ
ているという業、これをいっぺ
んにやめようとしても無理があ
ります。それに一度つくった業
は消えないのだから、むしろ、
「タバコを吸わない」という新
しい業をつくることにしました

そこで、禁煙が習慣となるように「せっかく一日タバコをがまんできたのだから、あと一日がまんしよう」「もう一日」「もう一日」と自分に言い聞かせてとうとう禁煙に成功したのですわたしの父は、吸っているタバコの火で次のタバコに火をつけるほど、それこそたいへんなヘビースモーカーでしたが、タバコが原因なのか、肺癌で六十歳の誕生日を前にして他界しました。生前、タバコをやめるよ

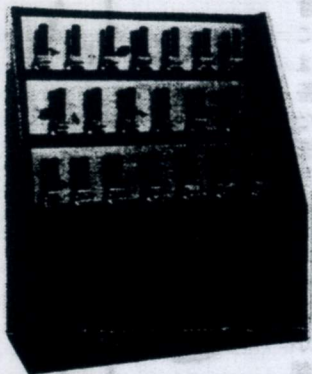
うにとのわたしの忠告に、「死ぬときは死ぬんや」と言っ手にしなかつた父でしたが、死後、形見の標本棚（父は長年、クワガタムシの研究に没頭し、会社定年後は昆虫図鑑を発行するのが夢でした。）の間から、ボキボキに折った洋モクタバコが出てきました。仮退院で帰宅した時に「このタバコのせいで定年後の夢が実現できないと、憎しみをこめて折ったのでしょか。」



○位牌堂について

檀信徒会館の二階に、位牌（納骨）堂を設置します。永代祀堂位牌をお祀りし、永代にわたってご回向ご供養させていただきます。俗に永代経といいますが、詳細が決定しだいご案内いたします。また同所には、数基ですが納骨仏壇も設置します。現在お墓のない方、後継者がなくお墓を必要としない方、分家され将来お墓を心配される方やお墓があっても当院に分骨を希望

される方、お墓を建てるまで一時預骨を希望される方は、是非ご検討ください。実物は八月十九日の法要時にご覧下さい。



檀信徒△云館建設の中間報告

盛夏の候、檀信徒の皆様には益々ご清栄のことと存じます。

さて、この度の檀信徒会館等建設につきまして、ご寄附をお願いしましたところ、多数の方々にご協力を賜っております。六月八日現在、三百十九人の方より総額、三千八百二十八万一千円のお申込み（二千四百三十四万四千円納付済）を頂きました。なかには、知人やご親戚の方々にもご紹介を賜り、ご寄附を頂いた方もありますが、目標の金額（六千二百万円）には、まだまだ達しておりません。

まだ寄附の申込書をご提出いただいていない方々には、是非とももう一度趣旨をご理解いただき、何卒ご協力賜りたくお願い申し上げます。また、当院にいささかでもご縁のある方々にも、皆様からお口添えを賜れば幸甚です。ご一報をいただければ、勸募資料をご郵送いたします。

尚、本設計は七月末日に完成、八月初旬には業者との契約を取り交わし、八月十九日の水灯会（うらぼん施餓鬼法要）に地鎮祭も併修。実際の工事は九月一日、旧庫裡の解体工事に着手、四月末日竣工をめざします。工事期間中は墓参などで何かとご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

平成四年七月一日

九島院住職 奥田 啓知
檀信徒会館建設委員会一同

中国黄檗山で大法要

6月21日より1週間、黄檗宗第四次友好訪中団の一員として、中国福建省にある黄檗山萬福寺で日中合同の大法要に加担しました。宗祖隠元禪師生誕四百年を記念して、大本山から公式訪中団が派遣され、管長祝下をはじめ僧侶30名、煎茶関係者27名、柳田青山、加藤正敏、大槻幹郎等学者の先生方20名、NHK放送関係者10名もの大訪中団になりました。

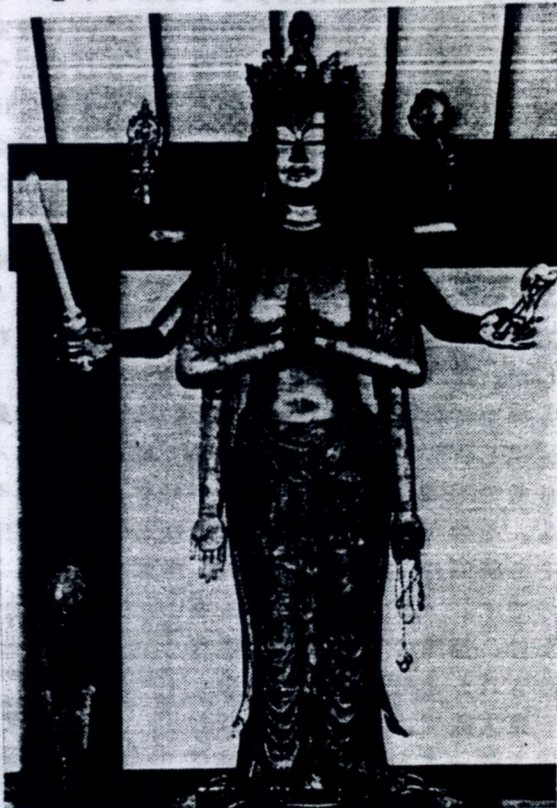
福建省の故山萬福寺では、中国側僧侶百名村人多数の熱烈歓迎を受け、爆竹のすごい音響が故山中に響きわたり、快晴のなか盛会裡に終わりました。とりわけ、中国側僧侶の梵唄（お経）と我々の誦する経声が調和し、感涙、感激もひとしおでした。

日本黄檗山萬福寺の中和泉の水を持参、煎茶道家元より献茶儀式があり、我々青年僧は古黄檗の地に現存している羅漢泉から聖水をくみ取り、日本に持ち帰りました。この聖水は、隠元禪師ゆかりの長崎『興福寺』で、7月3日お献茶の儀式と祝誕法要が行われ、小納も参加いたしました。

古黄檗での法要は今秋、NHKで放映されることですが、当院での水灯会（お施餓鬼）でも、一部ビデオを見ていただくと考えております。とても素晴らしい経験をさせていただきました。

○仏像のご奉納

高槻市在住の角美智子様から「不空羼索観音像」（御身の丈九拾センチ）が奉納されました。ご主人の故一應氏が定年後、仏像彫刻に精進され、たくさんのお仏像を製作され、コンテストにも入賞されるほどの成果をあげておられました。だが、昨年急逝されました。同観音像は生前、奥様のために製作されたものだそうですが、ご主人のご供養にと、ご奉納頂きました。坐禅堂のご本尊として末永く奉祀させていただきます。



氏は、製作にあたって太宰府の観世音寺の「不空羼索観音像」（写真）を手本とする為、足を運ばれたそうです。

○宗祖御生誕四百年慶讃法要

別紙にご案内しておりますが、この十一月七日（土）に大本山黄檗山萬福寺で厳修されます宗祖御生誕四百年慶讃法要に団体参拝を予定しております。お授戒を含めて、ご検討のうえ、お申込み下さい

○墓参用手桶・整理棚

会館建設に伴い、現在の墓参用のバケツ置場を撤去いたします。各家で置かれていたバケツ・ひしゃくはお持ち帰り下さい。樹脂製の当院名入りのバケツとステンレス製の整理棚を新添しましたので、ご利用下さい。墓参用手桶・整理棚は山門脇に設置しております。なお、お盆すぎに整理します。持ち帰りのバケツ等は処分いたしますので、ご了承下さい。

墓参用手桶



● ぞうきん心

お月参りにむかう自家用車の車内で聞いたラジオ番組に強く印象づけられました。それは、その番組のなかに『今時のななし』というコーナーがあって、ほんまに今時やなァと思う話題を紹介していました。

ある小学校でのこと。新学期そうそう集めた雑巾(ぞうきん)が、日に日に少なくなっているのを不審に思い担任の先生が、子供たちの掃除している教室に行ったのだそうです。どの子も一生懸命そうじをしていましたが使い終わった雑巾(ぞうきん)をくず箱にほかしているのを見つけたのだそうです。「なんで、ぞうきん捨てんねん?」と聞いたところ、返ってきた子供の答えが「だって、きたないもん」だったとのことでした。

近頃の子供たちは、箒(ほうき)を掃除機のように使っていると聞いたのは昔のこと。まさか、今ではぞうきんの使い方すら知らないとは、本当にあきれてしまいました。

禅宗では、作務(さむ)といって身体を動かす労働を重視します。坐禅ばかりが禅ではありません。行往坐臥日常の起挙振舞いのすべてが修行です。何をするにしても、その行為に集中することが必要なのです。いつも、その瞬間に、自己(おのれ)を燃焼させることが大切なのです。『食事のときは食事だけ、掃除のときは雑巾になりきれ』と教えられました。

東大阪で小間物屋を営む榎本栄一さんは、詩集『群生海』のなかで、右のような詩をのせておられます。どんなに人のいやがる仕事でも、進んでやる。そして、そこにこそ隠徳の心が生まれます。そういう心を磨くこと、他のよごれを一身に拭う(ぬぐう)ぞうきんの心こそが、今時の子供たち、いや私たちには必要なのでしょうか。

ぞうきん心は
他のよごれを
一身に拭いて
自分は汚く
なっていない

編集後記

▼中国黄檗山萬福寺参拝・長崎興福寺での祝聖法要と本当にあわただし日々を過ごしました。古黄檗のありる中国福建省は、ウーロン茶の産地として有名で華僑の故郷でもあり、台湾からの観光客が大勢お見えで

境内が美しくなることは檀信徒の皆様喜びであり、寺院の喜び、誰よりもまして御本尊様の喜びです。

だが、日本人にはほとんど遇いませんでした。現在の中国は国中いたるところで工事をしており、事前に聞いていた話とは随分違っていました。いよいよ、着工です。今夏の水灯会には、地鎮祭も併修いたします。皆様方の温かいご寄附で、九島院の面目も一新されます。是非、ご出席下さい。

ご案内

檀信徒会館建設
地鎮祭
水灯会
(うらぼん施餓鬼法要)

8月19日(水)

午後1時より

法話・住職